

## 概要



三重県尾鷲市

- 最盛期に1,500人の人口を誇った須賀利区は、現在1/10程度まで人口が減少し、高齢化率90%、平均年齢77歳に達し、高齢化と後継者不足が深刻となり、地域、漁業ともに存続の危機に直面しているため、新たな仕組みづくりが必要とされている。
- 漁村がかかえる防災、神社、寺院、医療、海業等の問題を洗い出し、関係者が包括的に協議できる場をつくることで、課題の解決を図る。

## 海業の取組概要

1. 須賀利区の漁業等の存続に向けた問題調査
  - ・地区の住人や関連組織・団体等への聞き取り調査を行って、防災、神社、寺院、医療、その他海業全般をテーマとした問題点を洗い出す。
2. 訪問者の受入れ環境づくりや地域資源の発掘調査等
  - ・大学などの関係機関と連携して、現状の課題を抽出し、さらなる訪問者の受入れ環境づくりに取り組むとともに、魅力ある新たな地域資源の発掘に取り組む。
3. 課題設定についての検討等及び有識者による現地指導等
  - ・須賀利海業推進協議会及び各テーマ部会において協議を行うとともに大学教授等の有識者による現地での指導や海業振興コンシェルジュなどを活用し、課題解決を目指す。



## 期待される効果

水産業の存続等の指針を明らかにすることで、漁業者等の所得が向上し、少子高齢化が進んだ漁村の今後のあるべき姿のモデルケースとなる。

## 協力体制

株式会社ゲイト	須賀利区
三重外湾漁業協同組合	高宮神社
尾鷲市消防団第7分団	普濟寺
東京海洋大学	三重大学
尾鷲市	三重県等

## スケジュール

令和7年1月	須賀利海業推進協議会設立
令和7年9月	地域課題抽出のための調査実施
令和8年	大学や企業が行う研修の試験的受入れ